

# 【音楽・中1・奏法を生かしてアルトリコーダーを演奏しよう】①

## 育成を目指す資質・能力

- (知識及び技能) ・楽器の音色や響きと奏法の関わりについて理解することができる。  
・創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付けることができる。
- (思考力・判断力・表現力等) ・器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫することができる。
- (学びに向かう力、人間性等) ・アルトリコーダーの様々な奏法による表現を楽しみながら、主体的・協働的に器楽表現の学習活動に取り組もうとしている。

## ICT活用のポイント

自分や他者の演奏を録音して聴き、奏法により曲の表情が変わる面白さに気付く

### 【つかむ】

楽器の構造や、演奏時の姿勢・タンギングの仕方等の基礎的な技能を学び、息の使い方やタンギングによって曲の雰囲気が変わることをつかむ。

アルトリコーダーで曲の雰囲気やイメージを表現できるようにしよう

### 【追究する】

自分がイメージする「喜びの歌」を表現するためにアルトリコーダーで様々な奏法を試し、奏法による表現の違いを楽しみ、自分の思いに合う奏法を見いだす。

### 【まとめる】

交響曲第9番「合唱つき」第4楽章を鑑賞し「喜びの歌」にふさわしい奏法を吟味し全体で合奏する。

## 事例の概要

### 【事例におけるICT活用の場面】

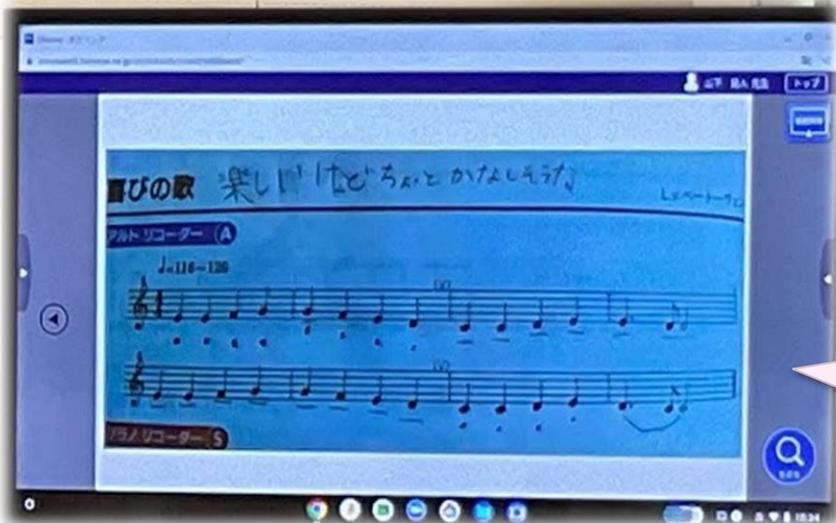
- 演奏家の動画を鑑賞し、正しく音を出す方法や美しい音を出す方法等を視覚からも理解し、確かな技能につなげることができるようにする。

### 【事例におけるICT活用の場面】

- ①『「○○な」喜びの歌』というタイトルを考え、自己のイメージに合うリコーダーの奏法を選択して楽譜に記入し、PDF化して授業支援ソフトで共有する。
  - ②録音機能を用いて、一人一台端末に自分の演奏を録音し、それをお互いに鑑賞し合いながら、よい点を自分の演奏に生かすことで、音を通じた対話により思考力・判断力・表現力を高めていくことができるようにする。
- 原曲である、ベートーヴェン 交響曲第9番「合唱つき」第4楽章を鑑賞することで、自己のイメージをもとに工夫することの面白さを味わうとともに、原曲の雰囲気を尊重して演奏することの大切さを学ぶことができるようにする。

# 【音楽・中1・奏法を生かしてアルトリコーダーを演奏しよう】②

## 【事例におけるICT活用の場面①】



『「○○な」喜びの歌』というタイトルを考え、自己のイメージに合うアルトリコーダーの奏法を選択して楽譜に記入し、PDF化して授業支援ソフトで共有した。

個々の思いを込めて楽譜に記入したことが、ICTの活用により画面を通してすぐに全体で共有でき、自分にはなかった表現の工夫を知ったり、それを自分の表現に生かしたりすることにつながった。

「楽しいけどちょっと悲しそうな」喜びの歌  
スタッカート奏法で明るさを表して  
ノンレガート奏法で悲しそうな感じを  
表したいと思いました。

スタッカート奏法で演奏すると  
明るい感じになるね！

自分もノンレガート奏法を取り入れて  
強弱にも気を付けながら  
演奏してみよう！

## 【事例におけるICT活用の場面②】



「ためして、やってみながら」  
納得のいく表現にしよう・・・。



友達が考えた演奏を  
楽譜を見ながら聴くことができ、  
工夫点を視覚的にも捉えられた。

自己のイメージにふさわしい演奏にするために

一人一台端末に自分の演奏を録音し、それを聴き返しながら何度も練習し、納得できた演奏を授業支援ソフトで共有して、楽譜を見ながら演奏が聴けるようにした。

それぞれの演奏を鑑賞し合い、音を通じた対話により思考力・判断力・表現力を高めていくことにつながった。

自分のイメージに合うような表現にするには・・・  
一人一台端末に録音して、聴いてみよう。